

伸長因子2キナーゼ

Cat. No. EXWM-3140

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 活性にはCa²⁺とカルモジュリンが必要です。この酵素は、EC 2.7.11.11の触媒サブユニットであるcAMP依存性プロテインキナーゼによってもリン酸化されることがあります。伸長因子2は、さまざまな成長因子、ホルモン、および細胞内Ca²⁺を上昇させる他の刺激に応じて、いくつかの細胞型でリン酸化されます。

別名 Ca/CaMキナーゼIII; カルモジュリン依存性プロテインキナーゼIII; CaMキナーゼIII; eEF2キナーゼ; eEF2K; EF2K; STK19

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.7.11.20

CAS登録番号 116283-83-1

反応 ATP + [伸長因子2] = ADP + [伸長因子2] リン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。